

業務プロセスの改善で 運送業の2024年問題解決へ

物流業界では2024年問題への対応が迫られている。そんな中、トラックドライバーの働き方改革を実現するためのベースとなるシステムの導入や有効活用をサポートし、新たなビジネスモデルの構築に向けた準備も進めた。

▼ 取り組み内容

Step 1
現状把握と課題整理

2024年問題への対応状況について富山県や全国の運送会社の現状を調査。社内でもヒアリングを実施。

Step 2
対策の立案・実行
①

労務管理・動態管理・安全管理につながるデジタコ導入をサポート。2024年問題対応のベースをつくった。

Step 3
対策の立案・実行
②

効率アップや業務の簡素化を図るため、基幹システムの運用についてアドバイスした。

Step 4
対策の立案・実行
③

同業他社との中長距離運送におけるアライアンスを視野に、提案用のプレゼン資料を作成した。

受入企業

株式会社 サポート 代表取締役 堀 裕直 さん

1997年創業。運送部、商品部、施工管理部の3部門で構成される。運送部では1トンから10トンまでのトラック23台を保有し、アルミ部材などの運送にフレキシブルに対応する。商品部では商業施設などの店舗に納める什器の製造・販売を、施工管理部では店舗の施工、移転などを手がける。商品部は近年、運送部と並ぶ事業の柱になっている。

協力研究員

豊田 直也 さん

大阪府生まれ。大学卒業後、日本アイ・ビー・エム株式会社に入社。中堅企業のパートナーとして、基幹システムやネットワークセキュリティ等を専門に手がけてきた。2013年以降、同社に関連するIT企業、5社程度で経験を積み、スキルを磨いた。富山“Re-Design”ラボに参加する前は、IT系の研修会社に勤務していた。

富山“Re-Design”ラボ 事例

CASE:

業務改善で
運送業における
働き方改革を支援

取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・ 労務管理等のベースとするため、トラックの走行距離や速度などを電子記録で保存するデジタルタコメーター（デジタコ）とリアルタイムで状況を把握できる車輛動態管理システムの導入をサポート。実効性を上げるため、ドライバーや事務員に向けた勉強会を開催。
- ・ 中長距離の荷物をリレー方式で運ぶため、同業他社とのアライアンス構築に向けた検討用資料を作成。
- ・ 入れ替えたばかりの基幹システムの運用を円滑化、効率化するためのフォローアップを実施。ムダの削減や不便の解消につなげ、現場に余力を生み出した。

🐝 受入企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・ 物流業界では2024年問題への対応が待ったなしですが、社内のリソースだけでは思ったように進んでいませんでした。そんなとき、銀行さんからこのプログラムについて紹介され、研究員が会社に入り、一緒に解決に向けて取り組む手法に魅力を感じ、参加しました。

評価（成果・社内変化など）

- ・ デジタコの導入など、今やっている仕事で手一杯で、社員だけでは中々手が付けられなかった部分について、豊田さんのおかげでスピーディーに進めることができ、助かりました。
- ・ 首都圏の第一線で仕事をしてきた研究員が入ったことで、いい意味で社内が引き締まった上、今までの社内の考え方、やり方が絶対ではないことに気付かせてくれました。客観的な目線でのアドバイスは社員にとっても素直に受け入れやすかったと思います。
- ・ 企業の課題の解決に向け、最適のスキルを持った人材をマッチングしてくれるので、特に当社のような小さい会社にはメリットの多いプログラムだと感じました。

今後の関わり方

- ・ 今後については豊田さんと十分に相談しながら決めていきたいと考えています。単身赴任での生活など、富山で働き続けるにはハードルもあるとは思いますが、いろんな選択肢をお互いに検討できればと思います。

👤 協力研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・ 今年12月で還暦を迎える年になり、今後の生き方を模索する中でこのプログラムについて知りました。富山大学や富山県、そして民間企業が三位一体で参画する仕組みにびっくりしましたし、これまでの経験が企業の課題解決に役立つのではと考え、参加を決めました。

評価（取り組み・生活）

- ・ 今までにはシステムを販売する立場でしたが、今回は逆の立場となったことで、導入企業にとっては何が問題になるかを理解することができ、非常に勉強になりました。
- ・ 経営者や社員の皆さんとずっと一緒にいますから、本音の話を聞いて、自分からも腹を割って意見を言えるようになり、課題解決に向けてスピードアップすることができました。
- ・ 大学が準備してくれたさまざまな講義を学生の立場で学んだり、卒論を書いたりしたことは新鮮な体験でした。他の研究員はコンサルティング経験者がほとんどだったため、企業コンサルタント業務の実際について理解が深まった点も収穫でした。

今後の展望

- ・ 今後の身の振り方について、まだ明確な答えは出ていません。堀社長ともよく話し合って決めたいと思います。ただ、今回の経験を通じて、自分がどういうサービスを提供できるのかということに関しては、一つのパターンが見えたように感じています。